



四谷小だより

令和5年9月29日
府中市立四谷小学校
No.7 校長 山中 慈子

読書が子供に与える効果

副校長 阿部 秀嗣

学研教育総合研究所の「小学生の日常生活・学習に関する調査」によると、小学生の3割は1か月に1冊も本を読まないそうです。ちょっと驚くような数ですが、1か月に1冊も本を読まない小学生は29.3%。2014年度の同じ調査では、「読まない」と答えた小学生が15.4%だったので、7年間かけてその数が約2倍に増えたこととなります。ちなみに、本校では、家で本を読まない児童は26%という結果でした。

また、この調査で小学生全体では、1か月に平均2.9冊の本を読んでいるということですが、2014年度調査の平均5.6冊に比べると、約半分の冊数になってしまいました。これらの調査から、残念ながら子供たちの読書量は減ってきているようです。

東海学院大学のアンドリュー・デュアー教授は、以下のように、読書のよいところをあげています。「語彙と表現力を増やすには、読書が極めて効果的です。とくに、子供のころの読書は言葉の発達に非常に重要です。日常会話やテレビで出会う単語と表現はかなり限られているが、本を読むとその幅が飛躍的に増えます。

物語をたくさん読む子は、登場する人の身になって、様々な感情を疑似的に経験し、人の心の作用をよく理解できるようになります。自分の生活で体験できないことを、本を通して体験できます。それは、疑似体験であっても、脳の処理の中で本物の体験と実質的にあまり変わらないからです。人情、感性、感受性、社会性、協調性、人の動機と気持ちを読み取る力などは、体験の種類と数が高まるのであれば、読書は近道です。」

(東京都教育委員会「未来を支える読書」)

このように、学習面、情緒面ともに、読書は子供の発達に関して、とても得るところが大きいようです。しかし、子供たちに本を読ませるのは大変だと感じている方も多いのではないのでしょうか。文部科学省委託調査の「子供の読書活動の推進等に関する調査研究報告書」によると、児童が本を読むようになったきっかけは、以下のようなものがあげられるそうです。

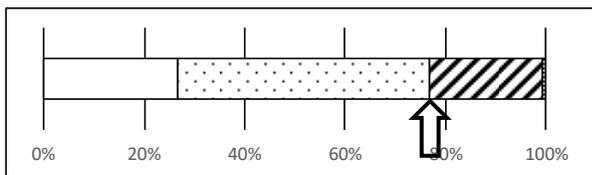
- ・家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋に連れて行ってくれたりすること 51.1%
- ・家の中で手にとりやすいところに本が置かれていること 43.6%

この結果から、読み聞かせをする、図書館や本屋に連れて行く、手に取りやすいところに本を置いておく、などは本好きにするためには効果があるようです。この秋、取り組みそうなところから、取り組んでみてはいかがでしょうか。

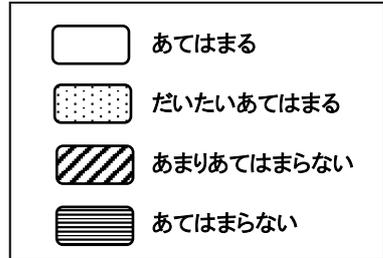
令和6年度は四谷小学校創立50周年記念の年です。学校・PTA・地域は協力して周年行事委員会を立ち上げました。内容等につきましては追々お知らせいたします。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いすることも今後あるかと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

令和5年度(前期) 四谷小の教育活動に関するアンケートのまとめ (令和5年7月実施)

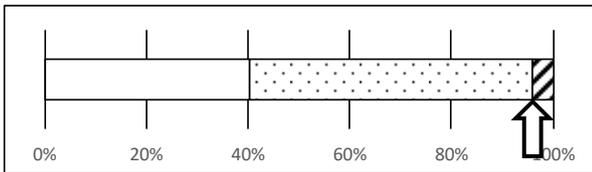
1. 学校は、教育の方針や活動内容、子供の様子を分かりやすくつたえている。



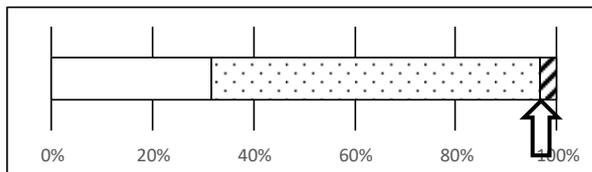
矢印の左側は「とてもよい」と「よい」を合わせた肯定的評価



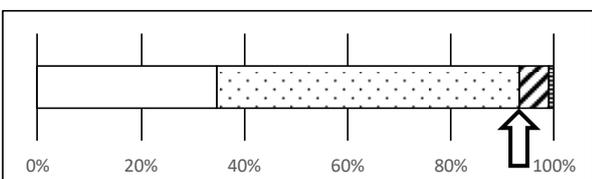
2. 学校は、子供の安全確保に努めている。



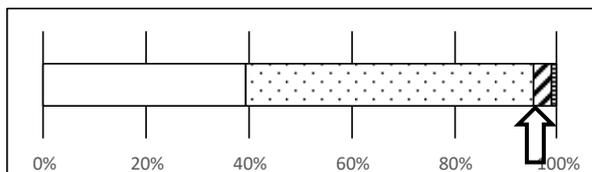
3. 学校は、体力の向上や健康を保つための指導をしている。



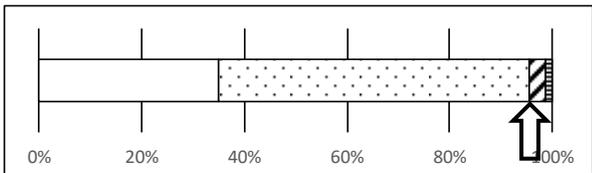
4. 学校は、楽しく分かりやすい授業を進めている。



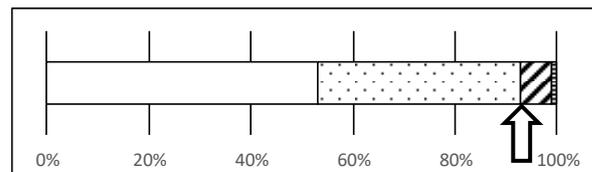
5. 学校は、子供についての相談や問い合わせに誠実に応じている。



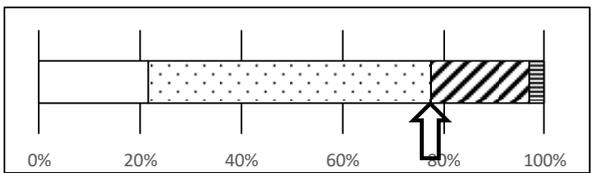
6. 学校は、一人ひとりの子供のよさを認め励ますことを大切にしている。



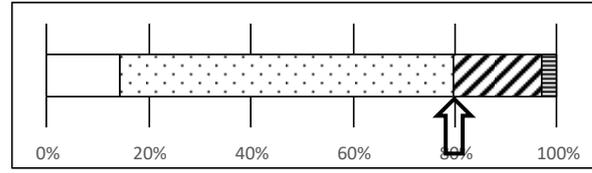
7. お子さんは、楽しく学校生活を送っている。



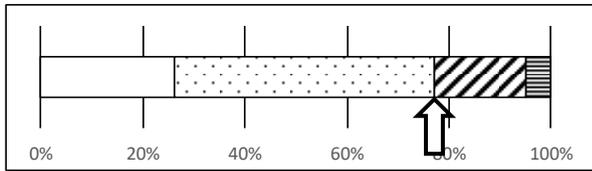
8. お子さんは、家庭や地域ですすんで挨拶ができる。



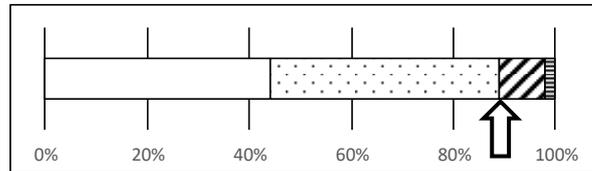
9. お子さんは、相手を大切に言葉遣いをしている。



10. お子さんは、家庭学習をする習慣が身についている。



11. 家庭で、学校や友達との出来事が話題になる。



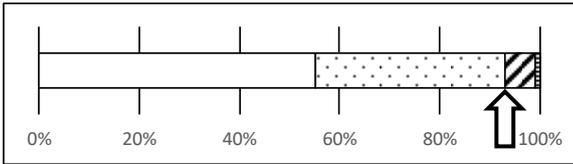
*アンケートの結果から

多くの項目で90%以上の肯定的評価をいただいています。4「学校は楽しく分かりやすい授業を進めている」5「学校は、子どもについての相談や問い合わせに誠実に応じている。」6「学校は、一人一人の子どもを認め励ますことを大切にしている。」など、学校の取組を評価していただいています。

9「お子さんは、相手を大切に言葉遣いをしている」は、20%ほどが十分ではないとの回答です。言葉遣いは、相手を傷つけないなど生活指導上大切なことなので、家庭と協力しながら重点的に指導していきます。10「お子さんは、家庭学習をする習慣が身についている。」も、20%ほどが十分ではないとの回答でした。家庭学習の定着は、学習の基礎・基本を身に付けるためには欠かせないことです。今後も、ご家庭と協力して、さらに指導をしていきます。

令和5年度(前期) 児童アンケートのまとめ (令和5年7月実施)

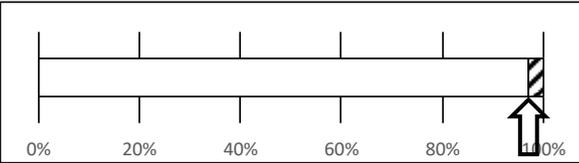
1. 授業の内容はわかりますか。



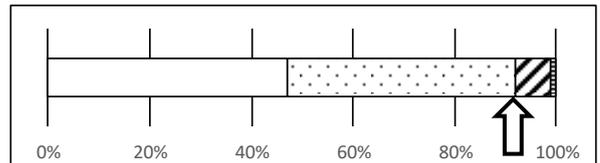
矢印の左側は「とてもよい」と「よい」を合わせた肯定的評価



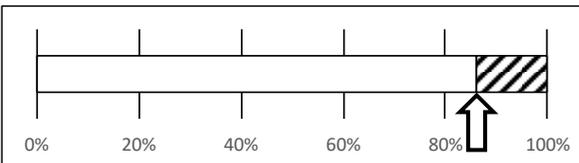
2. 学校に仲のよい友達はいますか。



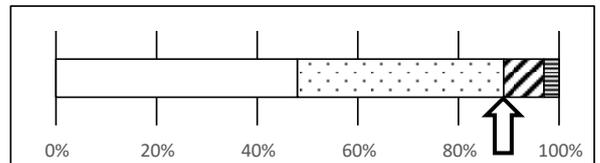
3. 相手を大切に言葉遣いをしていますか。



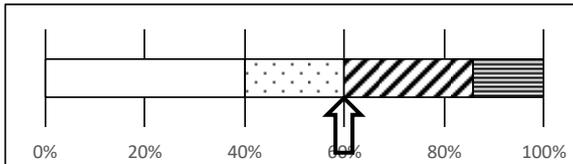
4. 困ったことを相談できる人はいますか。



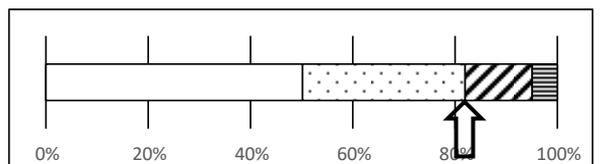
5. ろうかや階段の歩き方に気を付けていますか。



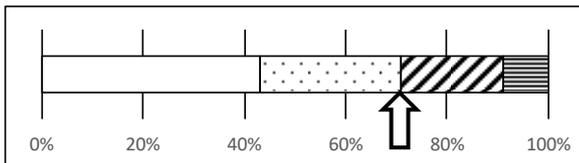
6. 晴れている日は外で遊んでいますか。



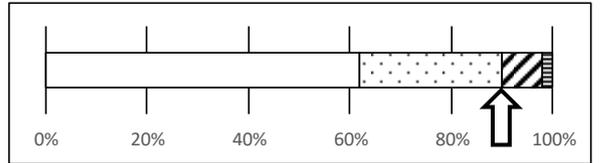
7. 先生や友達にすすんであいさつをしていますか。



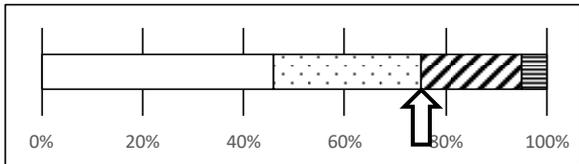
8. 保護者や地域の方にすすんであいさつをしていますか。



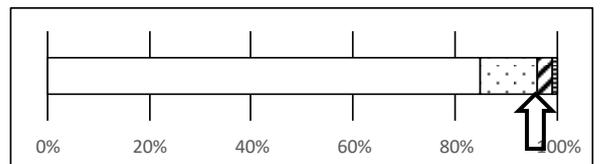
9. 宿題など、家での学習はすすんでできていますか。



10. お家でお手伝いをすすんでしていますか。



11. 毎日朝ご飯を食べていますか。



*アンケートの結果から

1 「授業の内容はわかりますか」に関しては、90%以上の児童が、内容を理解していると答えています。この数字が100%に近づくよう、四谷小では努力していきます。2 「学校に仲のよい友達はいますか」は、95%程の児童が、友達がいると答えています。しかし、学校としては、あと5%の児童への対応が大切だと考えています。6 「晴れた日は外で遊んでいますか」は、40%弱の児童が、外で遊んでいないと答えています。やはりこれは、温暖化の影響で、外に出られない日が増えたことが影響していると思われます。8 「保護者や地域の方に進んで挨拶をしていますか」は、30%ほどの児童が、十分ではないと答えています。現在、あいさつ運動を行っておりますが、この数が100%に近づくよう指導していきます。



10月の生活目標 すすんで体を動かしましょう



行事予定		4年生の代表委員は委員会活動日に参加
10月1日(日)		都民の日
10月2日(月)	朝会	社会科見学・ライフ(3年) 稲刈り予備日(5年)
10月3日(火)	朝読書	生活科どんぐりひろい(1・2年)
10月4日(水)	B時程	4時間授業 1年1組のみ5時間授業
10月5日(木)	安全指導	陸上記録会(6年AM) 委員会活動⑥
10月6日(金)	スマイルひろば (遊び計画)	PTA家庭教育学級講演会10:00 スマイルひろば
10月7日(土)		
10月8日(日)		
10月9日(月)		スポーツの日
10月10日(火)	朝読書	遠足(3年・4年) 脊柱側弯症検診(5年)
10月11日(水)	B時程	4時間授業時間授業
10月12日(木)	基礎学習	クラブ活動⑤
10月13日(金)	学級指導	
10月14日(土)		
10月15日(日)		
10月16日(月)	朝会	クリエイターズ授業(6年)
10月17日(火)	朝読書	避難訓練(不審者対応) スマイルひろば
10月18日(水)	基礎学習	ひばり教室説明会(14:00オープンスペース)
10月19日(木)	基礎学習	美術鑑賞教室(6年) スマイルひろば
10月20日(金)	児童集会	
10月21日(土)	B時程	土曜授業日④ 学校公開日
10月22日(日)		
10月23日(月)		振替休業日
10月24日(火)	朝読書	遠足(1年・2年)
10月25日(水)	B時程	4時間授業 5年2組のみ5時間授業 ジャイアンツ授業(6年 2~4校時)
10月26日(木)	基礎学習	クラブ活動⑥ スマイルひろば
10月27日(金)	児童集会 (図書)	遠足(3年・予備日)
10月28日(土)		
10月29日(日)		
10月30日(月)	朝会	英語Week始
10月31日(火)	B時程	給食なし 4時間授業 就学時健康診断13:10~

★ 10月31日(火)は就学時健康診断のため、給食なしの4時間授業です。

スマート連絡帳に通知が来たときに、表示される設定に変わる方法

スマート連絡帳は、そのままの設定ですと、連絡があった時にメールが来ません。
メールが来るようにするために、以下のように設定して下さい。

 →  メニュー「設定」

- ①設定>「メール通知の設定」をタッチします。
- ②学校からの新着情報に関するお知らせ通知を「ON」にします。

行ってきました わくわく自然体験教室

5年生は、9月11日（月）～14日（木）の3泊4日でわくわく自然体験教室に行ってきました。場所は長野県飯山市。千曲川が流れる、多くの自然に囲まれたところです。

1日目は、1・2組が希望湖周辺のトレッキング、3・4組は飯山市内めぐりをしました。（2日目はクラスを入れ替え、それぞれ1日目とは別の活動をしました。）トレッキングでは、ガイドの方と一緒に歩き、そこで見られるたくさんの植物について教えていただきました。自然の中を歩く気持ちよさを感じました。市内めぐりでは、伝統工芸品である手すき和紙の体験も行いました。それぞれオリジナルの和紙を作ることができました。



2日目からは、飯山市内の各宿に分かれての民泊でした。学年で12のグループに分かれ、それぞれの宿の「おとうさん」「おかあさん」と一緒に生活しました。宿では、交流会をしたりMyはし作りをしたりしました。はじめは難しそうにしていた子供たちですが、慣れてくると上手に竹を削って、すてきなMyはしができました。



3日目は、午前中にラフティングをしました。インストラクターの方にパドルの動かし方を教わり、千曲川をチームで下っていきました。流れが緩やかな場所では、川に入って気持ちよさそうに浮かんだり泳いだりもしました。全長5kmを1時間かけて下りましたが、あっという間の時間でした。また、ラフティング後の温泉も気持ちよさそうでした。午後は、宿ごとの体験活動を行いました。泥団子作りや勾玉作り、野菜の収穫など、普段はなかなかできない体験にどの子も真剣に取り組んでいました。



4日目、いよいよお別れの日。お世話になった宿の「おとうさん」「おかあさん」に手紙や寄せ書きを書いて渡し、感謝の気持ちを伝えるお別れ会をしました。そして、最後の活動は郷土料理の笹寿司作り。作り方を教わりながら、丁寧に作ってお昼ごはんとして食べました。「おいしい！」という声があちこちから聞こえていました。



さて、今回のわくわく自然体験教室、事前に実行委員が中心に決めたスローガンは「安全に 仲良く 協力して 最高の思い出を作ろう！」でした。スローガンを意識して過ごした4日間。わくわく自然体験教室が終わったから終わり。ではありません。スローガンの内容も含め、様々な活動や体験を通して学んだことを、しっかりと今後の生活に活かしていけるようにしていきます。